

未来の但馬をつくるワークショップにおける意見

第1回 豊岡市10月10日(土)開催

A班	
セッション1 (但馬地域の望ましい将来像)	セッション2 (望ましい将来像実現のために)
<ul style="list-style-type: none"> ・「つながる」但馬 ・自然で繋がる人の輪 ・地域のお祭りが残っている ・古民家等を活かして新たな空間に ・孫に囲まれて幸せに暮らす ・若い人達がより一層生き生きと活躍 ・もっと都会が近くなる ・誰でも自由に商売ができ、まちが豊かに ・街中に若者がいっぱいいる ・地域の皆と笑顔でふれあえる ・子供が自然で遊べる環境 ・中高生が遊べる場所 ・車がなくてもなんとかなるまちに 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つくる」但馬 ・自然を満喫する ・ネットを積極的に使う ・歴史を学ぶ ・伝統や祭りを継続 ・道路交通網の整備 ・地域のユニークな商店を支援 ・想いや挑戦を止めない ・仕事以外にも趣味や遊びを大切に ・様々な居場所作り ・地域で子育て ・但馬の企業について知る
B班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> ・心のしなやかさ、豊かな資源の継承 ・地域で支え合える繋がりがある ・人の温かさ、人情が残るまち ・多文化共生の実現 ・国籍や障がいの有無等関係なく「ひと」として皆が生活している ・やりがいのある仕事がある ・幸せに暮らせる ・時間を自由に使う暮らし ・介護の充実 ・豊かな自然を残す 	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬はひとつ ・地域資源の再評価、潜在能力を引き出す ・心のしなやかさを身につける ・後継者の育成 ・交通の便の向上 ・但馬全体のネットワークの強化 ・地域のコミュニティーセンターの充実 ・空き家、農地の活用 ・外のひとを受け入れられるように ・但馬をもっと知ってもらおう ・少人数社会の生活スタイル検討

C班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすさ(災害のリスク、自然環境、地域)→高齢者、若者、外国人 ・豊岡市=城崎ではなく、来た人がいろんな場所を巡れるまちに ・自然を維持しつつ都会のような賑わい ・災害の少なさをアピール ・高齢者よりも若者が多いまちに ・外国人の増加 ・認知症の方も地域の中で生活できる ・老人ホームでROCK' N ROLL 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の外に出て行く前に、地域を知り、満喫すること ・いろんな世代、立場の人が活躍できる社会。「こういう人だからこの役割」ではなく、「皆でできる」ように ・子育て世代に優しい市政 ・団塊の世代はまだまだやれる ・情報共有をしっかりと ・但馬の魅力が分かる教育を ・美しい自然を守りつつアピール ・地域のことを大事にできる心を持つ
D班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> ・(技術)技術を有効に使う ・(福祉)自助、共助、公助 ・(自然)豊かな自然、歴史を大切に守る →地産地消、自然を活かした産業 ・10G、リニア、AIにより便利に ・移動手段確保、交通事故0 ・優しい社会、人と人との繋がり ・子育てしやすい環境(公園、学校、お店) ・多様性への対応 ・格差是正 	<ul style="list-style-type: none"> ・(技術)守るべき産業は守り、ベンチャー支援等で技術者を但馬に ・(福祉)質の充実 ・(自然)自然を守ってくれる人の育成 ・リーダーを育成、責任を持って計画。予算をしっかりと立てて実行 ・幼小中と一本化、高大も無料 ・高齢者活躍の場、生涯現役 ・心の余裕、「金」からの脱却 ・医療を受けやすく ・安楽死の導入
E班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが受け入れてもらえる、打ち解けられる但馬 ・仕事と家の往復だけにならない ・自分を表現できる場所がある但馬 ・サービス業が但馬の付加価値に ・サービス業としての医療の発展 →健康産業 ・経済的に自立できている但馬 ・留学生を巻き込みいろんな国の文化を取り込んだまちに ・今ある自然環境をもっと大事に ・豊岡市民が気付いていない魅力を発掘 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中は自然の多い環境、学生時代は都会で情報を吸収する等、年齢、世代により暮らす場所を選ぶ ・学校教育、幼児体験を大切にし、土地への愛着を ・親が地元を卑下することで子に影響 ・但馬の幸せと不幸せを調査、理由も把握 情報発信の仕方に工夫を →情報を受け取る側も術を学ぶ必要 ・Tajima Wonderful Landとして、但馬をテーマパーク化